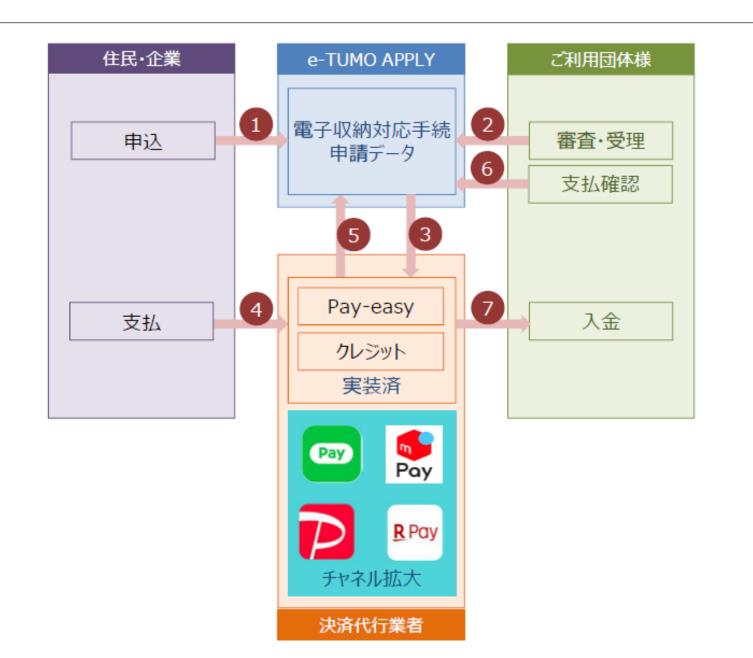
【参考】 R4年度上半期のWG活動総括

13のWG活動一覧

| WG名 | 目指す未来 | 該当頁 |
|--|--|-------|
| ①行政手続オンライン化 WG | 3ない窓口 (書かない、待たない、行かない) | 3-4 |
| ②マイナンバーカード普及・活用 W G | D X のスタートライン(デジタル上 で自己を 証明) | 5-9 |
| ③財務・文書システム W G | ペーパーレス、はんこレス | 10-12 |
| ④官民データ活用 W G | データ駆動型社会 | 13-16 |
| ⑤コアネットワーク(外で働く)WG | 現場で仕事 が完結する | 17-21 |
| ⑥ 業務システム(健康・福祉)WG | 住民のくらしを支える 専門職がつながる | 22 |
| ⑦業務システム(予約システム)WG | カウンター レス 、帳簿 レス 、キャッシュ レス 、キー レス | 23 |
| ⑧BPR (RPA)推進WG Business Process Re-engineering Robotic Process Automation | 自分の部下を自分で増やそう | 24-28 |
| ⑨ミライズ策定 W G | これからの 時代に合った 形に見直す | 29-31 |
| ⑩ A B W (新議会棟)W G Activity-Based Working | 場所や時間に捉われない 自由な働き方 | 32-33 |
| ① 窓口 W G | 行政手続オンライン化後の 窓口のあり方 | 34 |
| ⑫地域社会のDX推進 WG | 共助のあり方を再構築 | 35-37 |
| 13 デジタルデバイド解消 W G | 誰も 取り残されない | 38-42 |

| 項 | 1 | 内容 |
|--------------|--------|---|
| (1)当初計画の上半期活 | 5動予定 | ・オンライン化事例インタビュー、モデルケース作成、ツール使用方法庁内展開 ・WGキックオフ ・優先手続のオンライン化(子育て・介護、補助金業務等) ・類似する手続を複数所属で検討(補助金業務、キャッシュレス等) |
| | ①定量的 | ・情報政策課BPR等を通じてオンライン化した手続:3件 (軽費老人ホーム補助金申請、後援申請、バラ抽選販売) |
| (2)上半期の成果 | ②定性的 | ・優先手続のオンライン化(子育て、補助金業務等)BPR ・キャッシュレス化開発契約(R5.3~使用開始) ・オンライン化事例インタビュー |
| (3)当初計画の下半期活 | 5動予定 | ・上半期と同様 ・キャッシュレス化運用整理、庁内外展開 |
| (4)下半期に向けて必要 | 更なやりくり | ・ステイクホルダー 情報政策課が1つ1つのBPRを伴走しているため、実装までに時間がかかる。 上半期の活動成果をもとに、WGメンバーによる自律的な活動を促進する策を講じる。 ・品質 計画全体のKPI(令和7年度までに全ての手続をオンライン化)と現状に乖離が 大きいため、年度間の達成度を判断するための詳細な目標設定を行う。 |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・キャッシュレス ランニングコスト(手数料、月額固定費) 概算経費:100万円 |

(参考) ぐんま電子申請受付システム R5.3~キャッシュレス化運用開始





| 項 | | 内容 |
|--------------------|--------|--|
| (1)当初計画の上半期活 | 5動予定 | ①出張申請(6/1~開始予定) 出張申請の試行、自治会への通知発送及び受付、ショッピングモールでの実施 ②マイナポイント(~9/末予定) ショッピングモールでの周知・登録支援、制度資料の毎戸配布(7月) ③その他(未取得者のデータ分析、OYACO PLUSリニューアルの周知等) |
| | ①定量的 | ・マイナンバーカード交付率:48.19%(8月末時点、申請率:57.02%) ・企業等への出張受付:115回の実施、受付件数2,689件(8月末時点) ・全市民サービスセンター及び城南支所への出張申請実施(9月) |
| (2)上半期の成果 | ②定性的 | ・ショッピングモールでの出張申請受付時にはマイナポイント周知を併せて実施 ・マイナポイントに関するリーフレットの毎戸配布(広報8月号) ・OYACOplusの周知(各種届出時や市内保育施設でのチラシ配付、企業との連携) ・1階専用窓口にて、マイタク登録、国民健康保険証との連携などカード利活用の促進 |
| (3)当初計画の下半期活 | 5動予定 | ②マイナポイント(10月以降) 学生等と連携した周知・キャンペーン等の検討、新たな利活用策の検討 |
| (4)下半期に向けて必要 | 更なやりくり | ・スケジュール 企業からの出張申請希望が増加している中で、今後、全自治会での出張申請を予定 しており、各所との調整を円滑に行う必要がある。 ・コミュニケーション 自治体マイナポイントの実施や申請者へのQUOカード配付など、国の動向を踏まえ、 関係課での交付率向上に向けた検討・連携が必要である。 |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | 積算中 |

データ分析(地域別・年齢別のマイナンバーカード保有者数・保有率、R4.7.31時点)

保有者数

| | 合計 | 0~9 | 10~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50 ~ 59 | 60~69 | 70~79 | 80~89 | 90~99 | 100~109 |
|------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|----------------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 本庁管内 | 26,875 | 1,353 | 1,725 | 2,028 | 2,445 | 3,278 | 3,830 | 3,713 | 4,275 | 3,419 | 798 | 11 |
| 上川淵 | 11,108 | 615 | 719 | 836 | 1,085 | 1,351 | 1,499 | 1,447 | 2,027 | 1,364 | 163 | 2 |
| 下川淵 | 4,328 | 279 | 383 | 330 | 478 | 601 | 540 | 560 | 800 | 316 | 41 | 0 |
| 芳賀 | 3,750 | 182 | 238 | 256 | 322 | 430 | 490 | 617 | 760 | 398 | 57 | 0 |
| 桂萱 | 12,424 | 666 | 941 | 955 | 1,255 | 1,676 | 1,667 | 1,722 | 1,964 | 1,354 | 219 | 5 |
| 東 | 15,318 | 983 | 1,154 | 1,472 | 1,886 | 2,097 | 2,134 | 1,779 | 2,002 | 1,548 | 259 | 4 |
| 元総社 | 7,972 | 493 | 454 | 864 | 1,032 | 1,037 | 1,068 | 981 | 1,157 | 752 | 131 | 3 |
| 総社 | 6,086 | 407 | 393 | 608 | 866 | 810 | 764 | 691 | 844 | 591 | 112 | 0 |
| 南橘 | 17,681 | 910 | 1,229 | 1,722 | 1,910 | 2,152 | 2,511 | 2,407 | 2,630 | 1,907 | 299 | 4 |
| 清里 | 1,576 | 115 | 123 | 108 | 181 | 181 | 199 | 249 | 240 | 146 | 33 | 1 |
| 永明 | 10,118 | 621 | 698 | 855 | 1,173 | 1,335 | 1,209 | 1,304 | 1,704 | 1,085 | 132 | 2 |
| 城南 | 7,266 | 529 | 526 | 501 | 870 | 945 | 940 | 1,215 | 1,098 | 560 | 79 | 3 |
| 大胡 | 7,039 | 395 | 568 | 550 | 750 | 1,011 | 940 | 1,030 | 1,050 | 633 | 112 | 0 |
| 宮城 | 2,472 | 100 | 173 | 164 | 200 | 314 | 410 | 476 | 411 | 186 | 37 | 1 |
| 粕川 | 3,776 | 161 | 290 | 301 | 317 | 488 | 561 | 644 | 658 | 317 | 39 | 0 |
| 富士見 | 8,302 | 502 | 644 | 634 | 874 | 1,152 | 1,205 | 1,256 | 1,314 | 646 | 75 | 0 |
| 合計 | 146,091 | 8,311 | 10,258 | 12,184 | 15,644 | 18,858 | 19,967 | 20,091 | 22,934 | 15,222 | 2,586 | 36 |

保有率

| | 地区人口 | 全世代 | 0~9 | 10~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70 ~ 79 | 80~89 | 90~99 | 100~109 |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|--------|--------|---------|
| 本庁管内 | 56,168 | 47.85% | 36.74% | 36.95% | 38.58% | 46.66% | 45.12% | 46.61% | 51.92% | 55.48% | 66.20% | 45.11% | 23.40% |
| 上川淵 | 24,828 | 44.74% | 33.81% | 33.72% | 34.76% | 43.24% | 41.98% | 43.51% | 50.51% | 54.78% | 61.66% | 31.77% | 20.00% |
| 下川淵 | 9,394 | 46.07% | 32.86% | 38.69% | 40.19% | 47.99% | 42.56% | 47.37% | 54.47% | 56.54% | 55.73% | 23.84% | _ |
| 芳賀 | 9,080 | 41.30% | 32.91% | 32.56% | 34.69% | 39.17% | 36.53% | 41.88% | 47.94% | 47.15% | 52.44% | 25.22% | _ |
| 桂萱 | 28,230 | 44.01% | 32.50% | 35.03% | 36.34% | 43.08% | 41.77% | 43.81% | 49.88% | 51.77% | 60.28% | 34.76% | 33.33% |
| 東 | 32,070 | 47.76% | 36.14% | 37.85% | 42.02% | 48.68% | 45.24% | 45.71% | 52.85% | 57.83% | 69.05% | 48.50% | 25.00% |
| 元総社 | 16,987 | 46.93% | 36.71% | 36.58% | 43.20% | 48.29% | 44.26% | 44.50% | 49.90% | 56.86% | 64.00% | 38.99% | 27.27% |
| 総社 | 13,276 | 45.84% | 34.76% | 34.75% | 39.33% | 49.09% | 42.90% | 44.37% | 49.50% | 55.97% | 65.96% | 45.71% | _ |
| 南橘 | 39,010 | 45.32% | 32.51% | 35.18% | 40.63% | 44.21% | 42.20% | 44.81% | 49.51% | 54.34% | 63.99% | 39.66% | 20.00% |
| 清里 | 3,608 | 43.68% | 36.16% | 33.24% | 39.71% | 45.02% | 37.47% | 46.06% | 53.90% | 50.10% | 50.00% | 35.87% | 16.67% |
| 永明 | 23,765 | 42.58% | 32.58% | 33.95% | 36.00% | 41.86% | 39.84% | 40.83% | 47.70% | 51.40% | 59.88% | 30.28% | 11.76% |
| 城南 | 17,934 | 40.52% | 35.01% | 32.39% | 35.71% | 44.32% | 39.92% | 42.61% | 46.20% | 43.83% | 42.68% | 19.65% | 27.27% |
| 大胡 | 17,718 | 39.73% | 28.62% | 32.02% | 32.47% | 41.32% | 38.22% | 40.99% | 46.02% | 45.20% | 53.46% | 31.20% | _ |
| 宮城 | 7,287 | 33.92% | 28.57% | 28.64% | 26.97% | 33.84% | 32.47% | 41.46% | 39.08% | 35.55% | 31.96% | 17.13% | _ |
| 粕川 | 10,322 | 36.58% | 28.50% | 32.92% | 33.00% | 35.54% | 36.55% | 38.32% | 42.54% | 40.12% | 36.23% | 16.53% | _ |
| 富士見 | 22,459 | 36.97% | 31.16% | 30.89% | 30.35% | 37.92% | 37.34% | 38.80% | 42.71% | 40.81% | 40.78% | 18.29% | _ |
| 全体 | 332,136 | 43.99% | 33.75% | 34.76% | 37.50% | 44.26% | 41.64% | 43.77% | 48.87% | 51.30% | 58.81% | 35.28% | 16.29% |

出張申請の結果(R4.5.17~8.31)

| 類型 | 実施回数 | 受付人数 | うち申 請時来 庁方式 (※ ¹) | 備考 |
|--------------|---------------|------------------|---|---|
| 1 企業・団体 | 44 (38.2%) | 515 (19.2%) | 499 | 従業員30人以上の企業数 :計925か所 ※出典:H28経済センサス、 A~R全産業(S公務を除く) |
| 2 自治会 | 12 (10.4%) | 213 (7.9%) | 198 | 全自治会数:284 |
| 3 行政機関・市有施設 | (38.2%) | 798 (29.7%) | 735 | |
| 4 ショッピングセンター | 15 (13.0%) | 1,163 (43.2%) | 1,101 | |
| 計 | 115 (100%) | 2,689 (100%) | 2,533 | |

 (X^1) :申請時に本人確認を行うことで、市役所窓口に来ることなく、自宅でカードを受け取ることができる。

「デジタル田園都市国家構想交付金」の概要

- ※ マイナンバーカードの普及促進等
 - 「デジタル田園都市国家構想基本方針」を踏まえ、マイナンバーカードの普及の状況を交付金による支援に際して、評価することを検討する。その具体的な内容については、以下の考え方を基本とし、検討を進める。
 - ・ 全国的なモデルケースとなるようなデジタルを活用した先進的な取組(従来のデジタル田園都市国家構想推進交付金のType2/3や、従来の地方創生推進交付金のSociety5.0タイプ)については、「現状交付率全国平均以上かつ全住民への交付を目標として掲げていること」を交付金の申請条件とする。
 - ・ 他の地域で既に確立されている優良モデル等を活用したデジタル実装の取組(従来のデジタル田園都市国家構想推進交付金のType1及び地方創生テレワークタイプ)や、従来の地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金のうちデジタル実装のための計画策定、開発・実証等を主内容とするものについては、交付金の採択に当たって交付率を勘案する。

<参考>

- ・ 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)(抜粋)
- 第2章 新しい資本主義に向けた改革
- 1. 新しい資本主義に向けた重点投資分野
- (5) デジタルトランスフォーメーション (DX) への投資
- 2022年度末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指すとの方針の下、マイナンバーカードの利活用拡大等の国民の利便性を高める取組を推進するとともに、市町村における交付体制の強化に向けた支援を行うなど、適切な広報も含め、マイナンバーカードの普及に取り組む。
- デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日閣議決定)(抜粋)
- 第3章 各分野の政策の推進
- 2. デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備
- (2) マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大

【具体的取組】

- (e)マイナンバーカードの普及等デジタル社会の基盤の状況を踏まえたデジタル田園都市国家構想交付金の検討
- ・マイナンバーカードの普及等デジタル社会の基盤の状況をデジタル田園都市国家構想交付金による支援に際して評価することについて検討する。 (内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進室、デジタル庁国民向けサービスグループデジタル田園都市国家構想検討チーム)

計画の改定(KPIの追加)

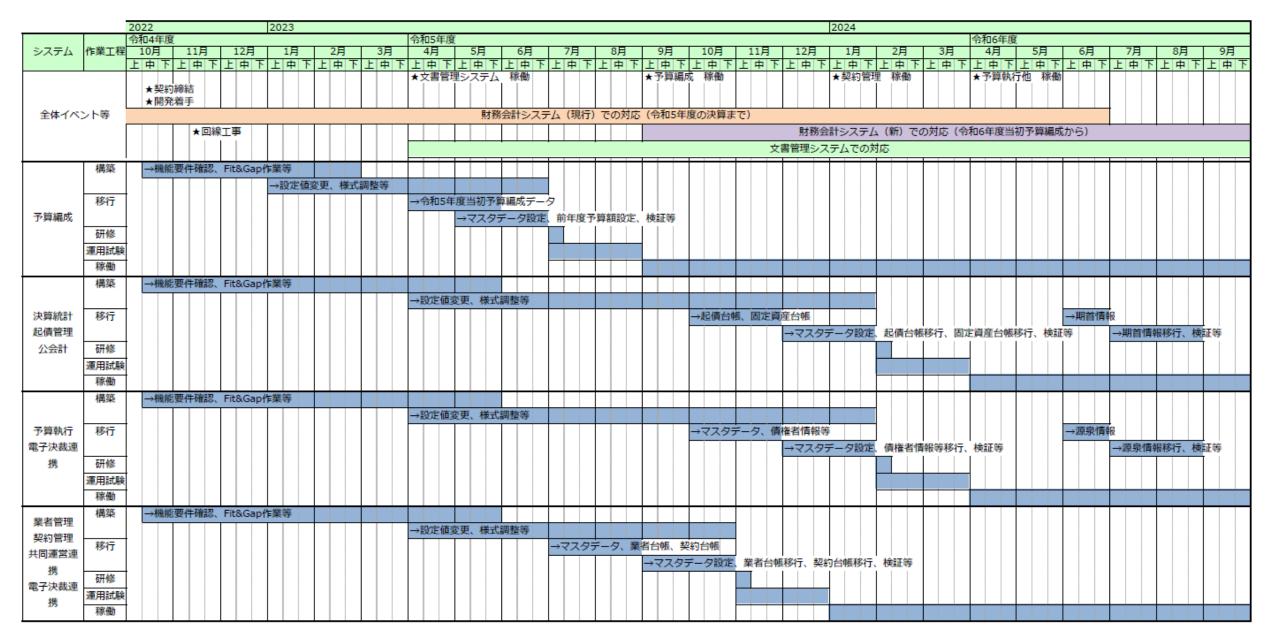
| (2) マイナンバーカー | ドの普及・活用 | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|--|--|--|
| 国は、2022年度末にはほ | ぼ全国民にマイナンバーカー | ードが行き渡ることを目指 | しており、市においても、 <u>マ</u> | イナンバーカード交付円滑 | | | | |
| マイナンパーカードの普及担マイナンパーカードを活用し ・その一方で、本市のマイナンを設置するなど取り組みを述 <取組> ・市役所及び大胡・宮城・粕川通じて、カードの交付からず ・市は2022年度までにマイタ 生涯にわたる健康データを一 | は大に向けた取り組みを進めていた市独自サービスを積極的にい いパーカード交付率は25.0%(2 動のているが、交付円滑化計画に い富士見支所における常設窓に が、第一で市民の様々なニーズに の事業におけるマイナンパーカ でででは供する方針(E | いる。また、市ではこれまで、 展開している。 2021年1月末時点)となって に定めた目標値(2022年度末 ロ、市民サービスセンターやが にきめ細かく対応する。 ード活用の一本化を進める。 PHR)や、2023年3月末には | マイタク、母子健康情報サービ いる。市役所1階にマイナンバー には市民の90%が取得)とは大き 企業等への出張申請、郵便局をは また、国は2022年を目途にマイニ 概ね全ての医療機関等でマイナ | イス、前橋ポイントなど、 - カードにかかる総合支援窓口 きな乖離が生じている。 はじめとする地域との連携等を ナンバーカードを活用して ンバーカードを健康保険証と | | | | |
| | | | | | | | | |
| 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和 4 年度) | 2023年度 (令和 5 年度) | 2024年度 (令和 6 年度) | 2025年度 (令和7年度) | | | | |
| 国によるPHR導入、概ね全医療機関等での健康保険証利用 マイナンバーカードの普及促進(交付円滑化計画) マイナンバーカードの普及促進(2022年度末の状況を踏まえた対応) マイタクのマイナンバーカード化(2022年度)など各種利活用策の推進、新たな利活用策の検討・実施 | | | | | | | | |
| | マイナンバーカードは、: 国は、2022年度末にはほ 化計画に基づいた普及促進 ます。 <現状と課題> ・国は、2020年9月からマイ: マイナンバーカードの普及担 マイナンバーカードを活用し ・その一方で、本市のマイナン を設置するなど取り組みを減 <取組> ・市役の大胡・宮城・粕川 通じて、カードの交付からま ・市は2022年度までにマイタ: 生涯にわたる健康データを一して利用できるシステム導 2022年度(令和7年度) 2021年度 (令和7年度) | 国は、2022年度末にはほぼ全国民にマイナンバーカー化計画に基づいた普及促進に努めるとともに、市独自のます。 <現状と課題> ・国は、2020年9月からマイナポイント事業、2021年3月がマイナンバーカードの普及拡大に向けた取り組みを進めているが、マイナンバーカードを活用した市独自サービスを積極的に、その一方で、本市のマイナンバーカード交付率は25.0%(を設置するなど取り組みを進めているが、交付円滑化計画に <取組> ・市役所及び大胡・宮城・粕川・富士見支所における常設窓に通じて、カードの交付から利活用まで市民の様々なニーズに・市は2022年度までにマイタク事業におけるマイナンバーカ生涯にわたる健康データを一覧性をもって提供する方針(して利用できるシステム導入を目指す方針を示しており、2022年度(令和4年度)末までに、市民の90%に、2022年度(令和7年度)末までに、市民の90%に、2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にで2021年度(令和3年度) | マイナンバーカードは、オンラインで確実な本人確認及び電子署名を行うことで国は、2022年度末にはほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指化計画に基づいた普及促進に努めるとともに、市独自の活用策や民間サービスとでます。 〈現状と課題〉 ・国は、2020年9月からマイナポイント事業、2021年3月からは健康保険証としての利用マイナンバーカードの普及拡大に向けた取り組みを進めている。また、市ではこれまで、マイナンバーカードを活用した市独自サービスを積極的に展開している。 ・その一方で、本市のマイナンバーカード交付率は25.0%(2021年1月末時点)となってを設置するなど取り組みを進めているが、交付円滑化計画に定めた目標値(2022年度末 <取組> ・市役所及び大胡・宮城・粕川・富士見支所における常設窓口、市民サービスセンターや通じて、カードの交付から利活用まで市民の様々なニーズにきめ細かく対応する。 ・市は2022年度までにマイタク事業におけるマイナンバーカード活用の一本化を進める。 生涯にわたる健康データを一覧性をもって提供する方針(PHR)や、2023年3月末にはして利用できるシステム導入を目指す方針を示しており、こうした動向を踏まえつつ、「2022年度(令和4年度)末までに、市民の90%にマイナンバーカードが行2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にマイナンバーカードが行2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にマイナンバーカードが行2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にマイナンバーカードが行2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にマイナンバーカードが行2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にマイナンバーカードが行 | マイナンバーカードは、オンラインで確実な本人確認及び電子署名を行うことができ、今後のデジタル社会の国は、2022年度末にはほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指しており、市においても、マ化計画に基づいた普及促進に努めるとともに、市独自の活用策や民間サービスとの連携を通じて、マイナンバます。 < 現状と課題> ・国は、2020年9月からマイナポイント事業、2021年3月からは健康保険証としての利用開始、2024年度には運転免許証マイナンバーカードの普及拡大に向けた取り組みを進めている。また、市ではこれまで、マイタク、母子健康情報サービマイナンバーカードを活用した市独自サービスを積極的に展開している。・その一方で、本市のマイナンバーカード交付率は25.0%(2021年1月末時点)となっている。市役所1階にマイナンバーを設置するなど取り組みを進めているが、交付円滑化計画に定めた目標値(2022年度末には市民の90%が取得)とは大き設置するなど取り組みを進めているが、交付円滑化計画に定めた目標値(2022年度末には市民の90%が取得)とは大き、取組>・市役所及び大胡・宮城・柏川・富士見支所における常設窓口、市民サービスセンターや企業等への出張申請、郵便局をは通じて、カードの交付から利活用まで市民の様々なニーズにきめ細かく対応する。・市は2022年度までにマイタク事業におけるマイナンバーカード活用の一本化を進める。また、国は2022年を目途にマイ生涯にわたる健康データを一覧性をもって提供する方針(PHR)や、2023年3月末には概ね全での医療機関等でマイナとて利用できるシステム導入を目指す方針を示しており、こうした動向を踏まえつつ、市民の暮らしを支える新たなサーク2025年度(令和4年度)末までに、市民の90%にマイナンバーカードが行き渡ることを目指す2025年度(令和7年度)末までに、全ての市民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指す2025年度(令和3年度) (令和6年度) | | | | |

| WG | 名 |
|----|---|
|----|---|

③財務・文書システムWG

| 項目 | l | 内容 |
|--------------|------------|--|
| (1)当初計画の上半期活 | 動予定 | ・R4.5:プロポーザル審査、優先交渉権者決定 ・R4.6:契約締結、構築業務開始(財務・文書) |
| (2)上半期の成果 | ①定量的 | |
| (2) 上十朔の及木 | ②定性的 | ・R4.5:プロポーザル審査、事業者決定 |
| (3)当初計画の下半期活 | 動予定 | ・R5.2末までに文書管理システム基本構築完了 ・R5.3文書管理システム研修開始(R5.4.1稼働) |
| (4)下半期に向けて必要 | 巨なやりくり | ・事業者提案スケジュールに基づく構築・進行管理 |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・構築及び保守 112,154千円 |

(参考) 稼働までのスケジュール



| | | | | | | 20 | 023 | | | | | | 2022 2023 | | | | | | | | | | | | | | | 2024 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|------|-------|----------|-----------|-----------------|----------|------|-----|--------|------|-----------|-----|----|--------|-----|----------|-----|--------|--|---------------|-----|---------|-------|----------------------------|------|------|-----|----|-----|-----|-----------------|------------|--------|----|---------------|----|---|-----|----|----------------|----------|--------|
| | | 令和4年度 | | | | | | | | | | 令和5年 | | | | | | | | | | Ţ | | | | | | | | | | | 4 | 和6年 | | | $\overline{}$ | | | | | | | |
| システム | 作業工程 | 10月 | 11) | | 12月 | | 1月 | | 2月 | 3) | | 4月 | 5) | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 2月 | 1,5 | | 2月 | | 3月 | - . | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 归 | 8, | | 9) | |
| | 144-5-5- | 上中下 | | | | | | 1 1 | 4 中 | 上甲 | 1 | 上甲1 | 上中 | ١ ١ | 上中 | 1 1 | 1 平 | <u> </u> | 甲 1 | 1 | 中门 | 1 1 | 甲 | 1 1 | 中下 | <u> </u> | 4 中 | 上中 | Ν. | 上中 | N _ | 中 | 1 | 中 | 1 1 | 中 | 1/1 | 中门 | 上 | 中 1 | 上月 | 下 | 上中 | 1 |
| | 構築 | →機能 | 要件傩 | 18. F | it&Ga | ap作簿 | 等 | | | | | | | | | | | \perp | | | | | | | | \perp | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 9 | | | | | | | | | →設定値 | 変更、 | 様式調 | 整等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 移行 | | 000 | | | | | | | | | | 000000 | | | | | | | | | \rightarrow | マスク | ァデー | 夕等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 検査管理 | | | 0000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Т | | →= | 7スタ: | データ | 设定核 | 証等 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 研修 | | 000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 運用試験 | | 0 | | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | H | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | _ | | |
| | 稼働 | | | Ш | | | | | | | | | | | | \bot | | \perp | | | | 4 | | \bot | | + | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 構築 | →機能 | 要件確 | 認、F | Fit&Ga | ap作簿 | 等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | - | | | | | | | | | →設定値 | 変更、 | 様式調 | 整等 | | | | | | | | | \perp | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備品管理 | 移行 | | 500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | \rightarrow | マスク | フデー | ·夕、fi | 品台 | 帳、2 | 有財産 | 台帳 | 等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 公有財産管 | | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | $\rightarrow \overline{4}$ | ?スタ: | データ | 设定、 | 備品 | 台帳科 | 符、2 | 公有則 | 才産台 | 長移行 | ,検 | 証等 | | | | | | | |
| 理 | 研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 運用試験 | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 稼働 | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 構築 | →機能 | 要件確 | 認、F | Fit&Ga | ap作第 | 等 | + | | | | | | | | + | 0 | + | | | | + | | + | | \top | | | | | | | | | | | _ | | | | | \blacksquare | \vdash | |
| | | | 设定值多 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 移行 | →マス | | | | | 2 | ー タデー | 力等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文書管理 | 1911 | | | | | | | | | - | LOST A | _ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電子決裁 | | → | マスタラ | 5 | 設定、 | . 検証 | →マ | スタラ | - タミ | 变定、 | 検証 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 研修 | | 8 | | | | | | | | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 運用試験 | | 000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 稼働 | | | | | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境構築 | | →NW | 構築() | 貴市) | | | | | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | \Box | |
| (文書管 | 構築 | →! | 環境要件 | 牛確認 | 等 | | | | | | | | | | | | | | | | POLICE AND ADDRESS OF THE PARTY | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理) | | | →環境 | | | <u>t)</u> | | | | - | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境構築 | | →NW | 構築(対 | | | | - | | | - | | | | | | \top | | \top | | \top | | \top | | \top | | | | | | | | | \top | | \top | | + | | | | | + | \vdash | \top |
| (財務会 | 構築 | | 環境要件 | | _ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計) | 117215 | | →環境 | | | +) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 817 | | | 一學學 | // 传来 | (笄性 | L/ | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| WG名 | G名 | G名 | (| V | V | ١ |
|-----|----|----|---|---|---|---|
|-----|----|----|---|---|---|---|

④官民データ活用WG

| 項目 | | 内容 |
|--------------|------------|---|
| (1)当初計画の上半期活 | 動予定 | 実践を通じたデータ活用事例の創出 ・事例共有、ニーズ調査、民間企業等へのヒアリング ・出口とセットでデータ活用を検討(概念検証) ・データ搭載、実装(価値検証) |
| | ①定量的 | ・全体WGを計3回開催 |
| (2)上半期の成果 | ②定性的 | ・実践に向けたテーマ別のグループ活動を開始 ①業務効率化、住民サービスの向上(市役所起点) 各所属でのオープンデータ化(GIS・さーちず・オープンデータライブラリー)の 実現に向けて、課題等の抽出 ②官民連携による住民の利便性向上(民間起点) 民間サービスへデータを提供するための準備・検証 ③データを活用した政策立案(EBPM) 政策立案に向けた課題等の抽出、対象テーマの検討 |
| (3)当初計画の下半期活 | 5動予定 | 上半期実績を踏まえ、全庁への横展開検討 |
| (4)下半期に向けて必要 | 厚なやりくり | ・スケジュール 年内に活用事例創出、年度内に全庁への横展開方策を具現化するための進捗管理 |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・当初予算要求はなし(年度途中の仮説検証はチャレンジ&アジャイル枠予算を活用) |

テーマ別のグループ活動

①業務効率化、 住民サービスの向上 (市役所起点)

- ・市役所が保有するツールでデータを可視化、提供 (例) GIS→さーちず→オープンデータライブラリ
- ・業務効率化や価値創出の観点で、搭載データを検討

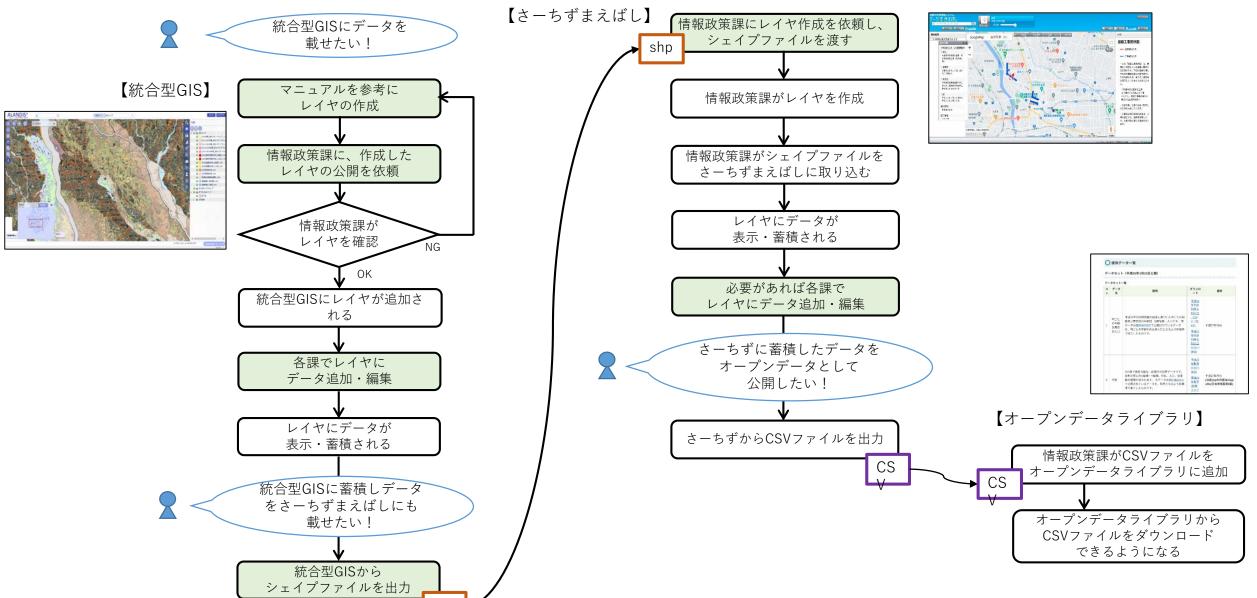
②官民連携による 住民の利便性向上 (民間起点)

- ・民間のツールでデータを可視化 (例) いこーよ
- ・先方指定の様式でデータを提供

③データを活用した 政策立案 (EBPM)

- ・基本:市が保有するデータを使って政策立案に活かす
 - (例) マイナンバーカード保有者分析
- ・応用:民間等が保有するデータとの組み合わせ
 - (例) GPSデータと組み合わせ

【参考】市役所が保有するツール(GIS・さーちず・オープンデータライブラリー)のフローチャート



【参考】民間ツールとの連携



□ 2~4時間

□ 4時間~

こだわり条件

□駐車場あり

□授乳スペースあり

□託児所あり

□雨の日でもOK

□ベビーカーOK

るなぱあく (前橋市中央児童遊園)

とても懐かしく感じる園内。日本一安く、乗りものは10円と50円!



群馬県前橋市大手町3-16-3

評価 ★★★★★ 4.3 [□□ミ41件]

「遊園地に行きたーい!」という子供のリクエストには応えてあげたい! でも遊園地ってそう何度も行けるもじゃないし、今月は家計がピンチ…そんな時こそお勧めな…

444 (80) (81)

【特徴】

- ①全国を網羅した掲載数 スポット情報 62,000件以上、体験記や口コミ29,000件以上
- ②子育て層に支持された利用者数 年間PV数:4億6,000万以上
- ③ユーザー利便性を考えた検索性

提出データ(エクセルシート)

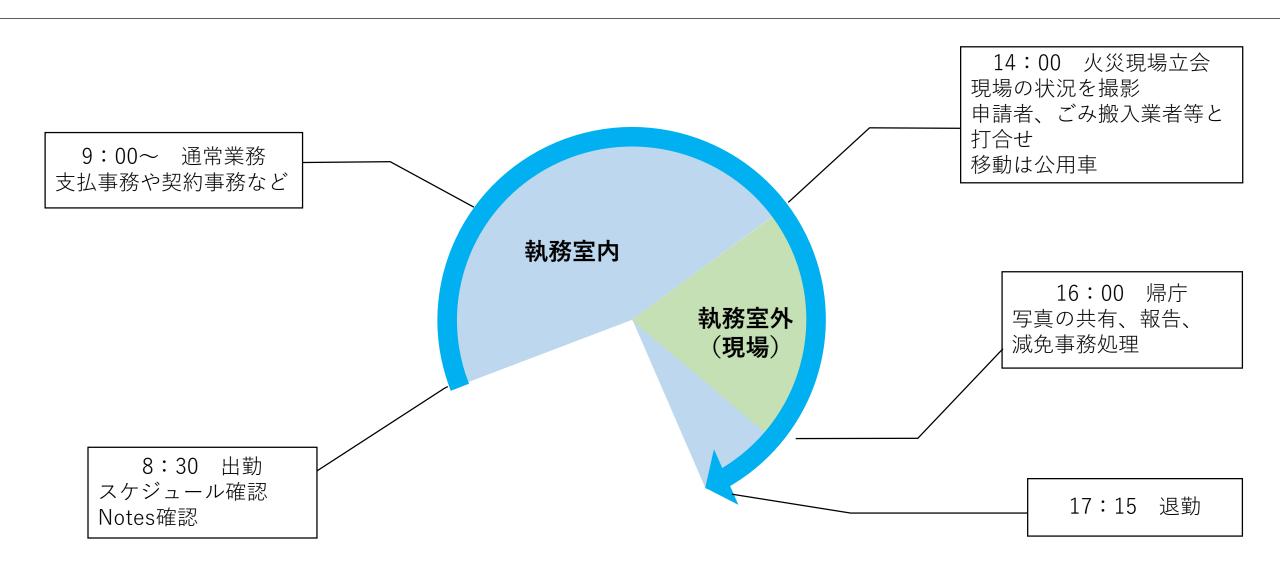
| 例) | 130001 | 1 | 東京都 | 品川区 | いこーよ児童センター | イコーヨジドウセンター | | いこーよハウス | 1510a | 児童館 |
|-------------------------|--|----------------------------|--------------|------------|----------------------------------|-------------------|---------|---------|---------|---------|
| 項目→ | 都道府県コード | No | 都道府県名 | 市区町村名 | 名称 | 読み仮名(カナ) | 名称_英語 | 名称_通称 | POI⊐—F | 種別 |
| 上記 | ⑤内閣官房推奨 | | ⑤内閣官房推奨 | ⑤内閣官房推奨 | ①いこーよ必須 | ①いこーよ必須 | ⑤内閣官房推奨 | ③より充実 | ⑤内閣官房推奨 | ⑤内閣官房推奨 |
| 推奨データセットとの比較 表の通しNo→ | 1 | 2 | 3 | 5 | 6 | 7 | . 8 | 9 | 10 | 1: |
| | 次での地段の特殊 | P) C MAIDING | 3.566.201.50 | の項目である「哺布」 | こべんにていたたけよりと心思ながら | くさ 下成す る味に入麦助がりよす | • | | | |
| | | | | | :は入っている項目です。 に入れていただけますと施設説明3 | ケスた成する際に士亦助かります | | | | |
| | | | 提案項目となります。 | | | | | | | |
| | | は、「いこーよ」必須 | | | | | | | | |
| | | 頃日は「いこ―よ」必: 項目は「いこ―よ」必: | | | | | | | | |
| | (1) the state of t | 項目は「いこ一よ」必 | · | | | | | | | |

| V | V | G | 名 |
|---|---|---|---|
|---|---|---|---|

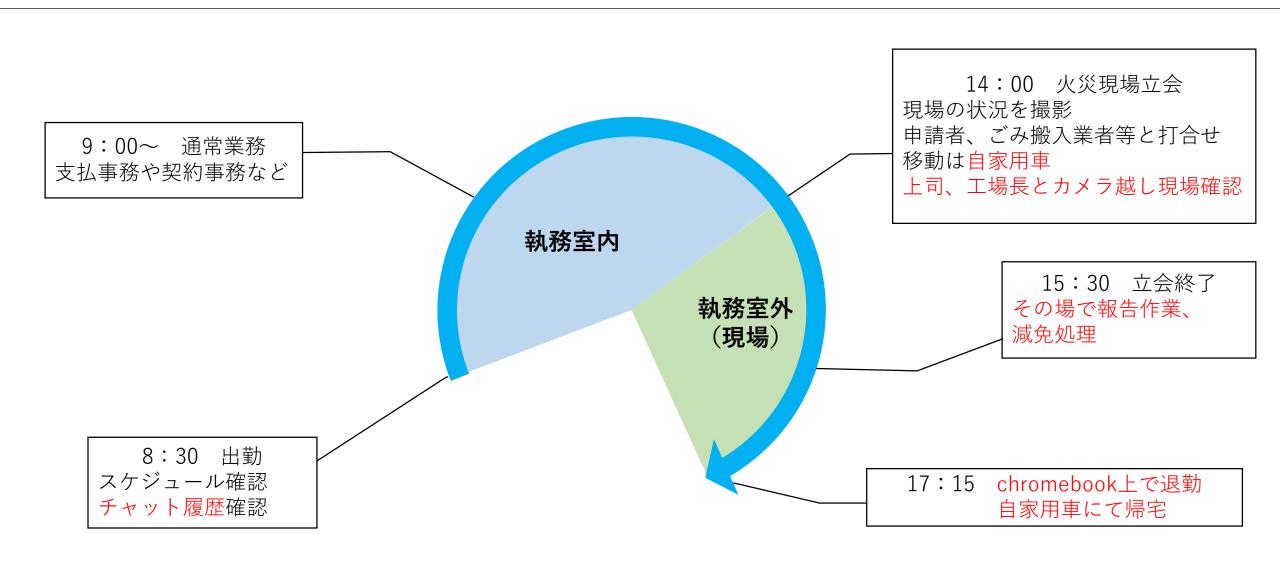
⑤コアネットワーク(外で働く)WG

| 項目 | l | 内容 | | | | | | |
|--------------|------------|---|--|--|--|--|--|--|
| (1)当初計画の上半期活 | 動予定 | ・Chromebookを用いた実践 例:現場で活用、Web会議、打ち合わせの効率化等 ・昨年度WGで出された課題・アイデアの検討 | | | | | | |
| (2)上半期の成果 | ①定量的 | R4年度WGメンバーによる意見発散 | | | | | | |
| (乙)工一州 (乙)水木 | ②定性的 | ・試行スケジュール策定、各グループごとのChromebook及びsurfaceの端末準備 | | | | | | |
| (3)当初計画の下半期活 | 動予定 | ・実践を通じて利用方法を体系化し、庁内に発信 | | | | | | |
| (4)下半期に向けて必要 | 長なやりくり | ・スケジュール グループごとに毎週の目標合わせを行うなど、試行時の進捗管理・スコープ、品質 試行を通じて蓄積したナレッジを全庁展開時の資料としてまとめる作業 | | | | | | |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・現場で働く環境を構築するための閉域SIM調達(金額調整中) | | | | | | |

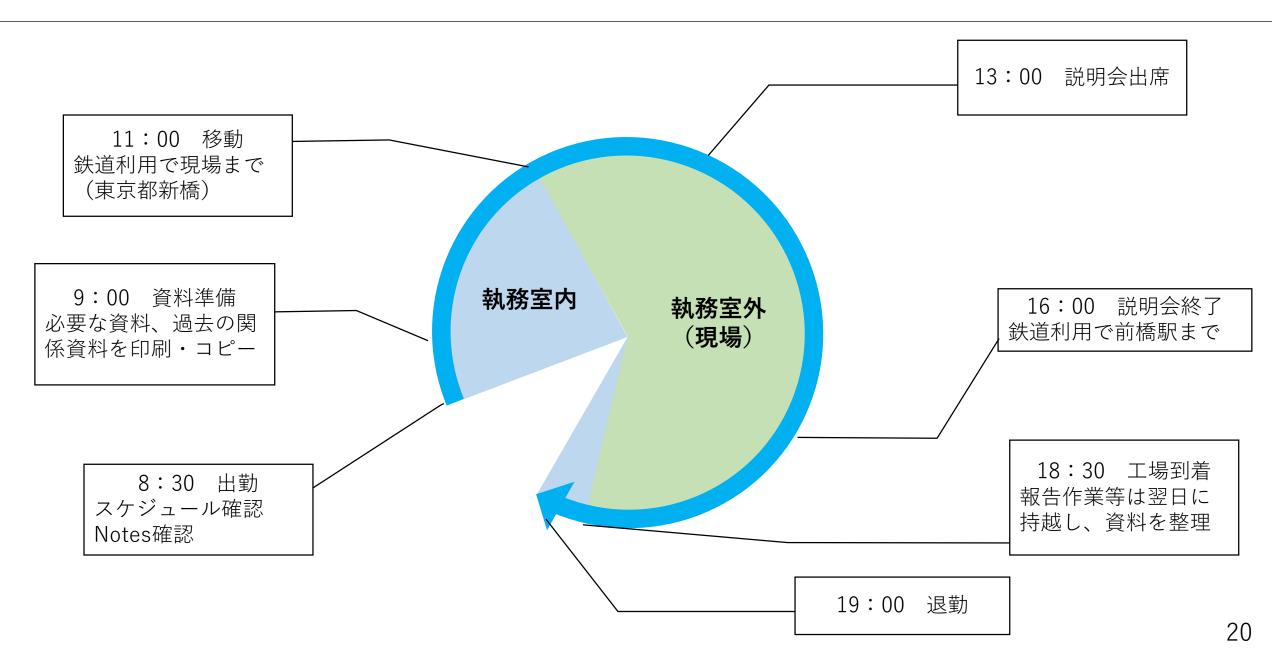
ユースケース(火災ごみ減免)【現在】



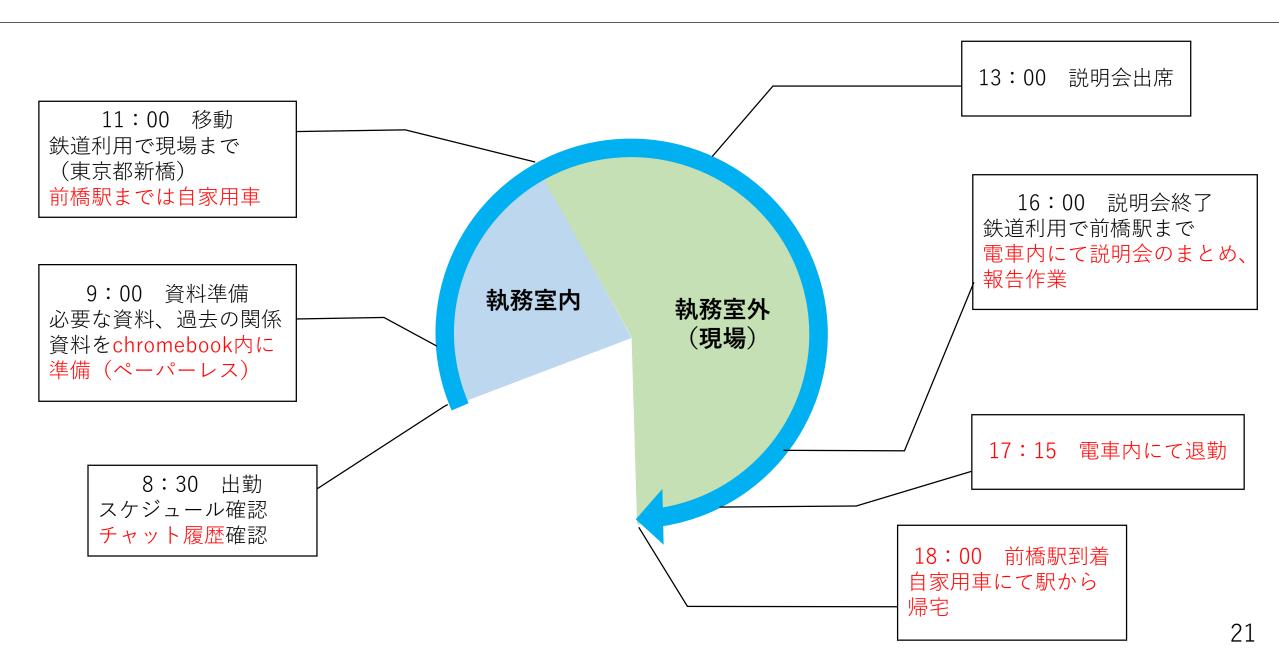
ユースケース(火災ごみ減免)【未来】



ユースケース(出張編)【現在】



ユースケース(出張編)【未来】



| WG 名 | 7 |
|-------------|---|
|-------------|---|

⑥業務システム(健康・福祉)WG

| 項 目 | | 内容 | | | | |
|--------------|------------|---|--|--|--|--|
| (1)当初計画の上半期活 | 動予定 | 住民のくらしを支える専門職がつながるプラットフォームを採用する前提で、 これまでのコミュニケーション(対面、紙、電話、FAX)を効率化するための ・実証実験内容の決定 ・手続きの洗い出し(昨年度から継続) | | | | |
| | ①定量的 | | | | | |
| (2)上半期の成果 | ②定性的 | ・計2回のWGを開催 ・活動方針の変更 予定していたプラットフォームの活用に至らなかったことから、別の手段により、 コミュニケーション(対面、紙、電話、FAX)の効率化を検討する。 | | | | |
| (3)当初計画の下半期活 | 動予定 | 実証実験結果報告 | | | | |
| (4)下半期に向けて必要 | 巨なやりくり | ・スコープ 関係者が多岐にわたることで生じるコミュニケーション上の課題と、既存システム (MCS)で解決できる領域を整理する。 | | | | |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・当初予算要求はなし(年度途中の仮説検証はチャレンジ&アジャイル枠予算を活用) | | | | |

| WG名 | 1 |
|-----|---|
|-----|---|

⑦業務システム(予約システム)WG

| 項目 | I | 内容 |
|--------------|------------|--|
| (1)当初計画の上半期活 | 動予定 | ・全庁へのバックヤード側業務の照会 ・デモの実施(9月末より順次) |
| | ①定量的 | ・計1回のWGを実施(キックオフ) |
| (2)上半期の成果 | ②定性的 | ・バックヤード側業務の整理・事業者デモを実施 |
| (3)当初計画の下半期活 | 動予定 | ・WGメンバーへの目線合わせ ・各施設の業務のBPR ・実装に向けた調整(プロポーザル) |
| (4)下半期に向けて必要 | 巨なやりくり | ・導入方針の決定(クラウドサービス利用、キャッシュレス・キーレスの段階的導入) ・RFPに向けた仕様整理 ・運用整理の役割分担:意思決定、条例・規則、会計、監査 等 |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・予約システムの導入(RFI結果) 導入経費20,940千円 + 年間利用料4,718千円 |

| WG名 | W | IG | 名 |
|-----|---|-----------|---|
|-----|---|-----------|---|

⑧BPR (RPA) 推進WG

| 項 | | 内容 | | | | | | |
|--------------|------------|---|--|--|--|--|--|--|
| (1)当初計画の上半期活 | 動予定 | 【①BPR全庁展開GR、②ツール診断GR】①BPR庁内展開方法の検討/②適性ツール診 断テストの作成 ⇒ ①②対象所属を先行モデルとしてBPR庁内展開試行、取組状況の発信 【各ツール作成GR】Excelマニュアル公表、財務会計報酬支払RPA庁内展開 【WG全体】新たな課題の洗出し ⇒ 課題解決グループの結成 | | | | | | |
| (2)上半期の成果 | ①定量的 | ・【WG全体】各所属BPR対象業務の見直し検討まで完了 ・【各ツール作成GR】Excelマニュアル作成完了 ・【各ツール作成GR】財務会計報酬支払RPA、WG内先行導入済み(7~8月分報酬) | | | | | | |
| | ②定性的 | ・全体WG:計6回、①BPR全庁展開GR、②ツール診断GR:各計2回、④報酬支払RPA 庁内展開GR:計1回 | | | | | | |
| (3)当初計画の下半期活 | 5動予定 | 【①BPR全庁展開GR、②ツール診断GR】①②対象所属を先行モデルとしてBPR庁内展開試行、取組状況の発信 ⇒ 試行結果の検証、庁内展開に向けた準備 【新たな課題解決GR】課題解決グループによる活動 【RPA移行GR】RPA移行所属に対する研修(OJT)の実施 | | | | | | |
| (4)下半期に向けて必要 | 長なやりくり | 【①BPR全庁展開GR、②ツール診断GR】 ・スコープ&リスク \rightarrow 他所属を訪問してBPRする活動を予定しているが、活動範囲 が他所属の業務まで及ぶため、メンバーの所属の理解が得られるか懸念される ・スケジュール \rightarrow WGメンバーの入替によりGR活動が8月開始となったため、先行 モデルの庁内展開試行・取組状況発信は、R5年度前半頃完了見込み | | | | | | |
| (5)R5年度予算要求 | 内容と金額 | ・AI-OCRライセンス賃貸借料 5,124千円(R4予算の4倍) ・RPAライセンス賃貸借料 6,138千円(うちWG専用RPA分 1,096千円) | | | | | | |

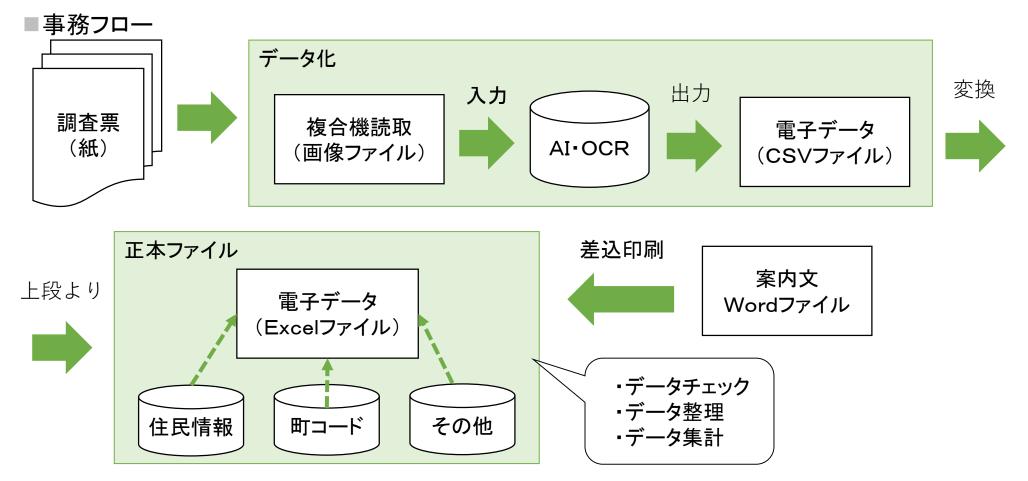
Excel活用マニュアル

BPR(RPA)推進WG 編

モデルケース:ひとり暮らし高齢者調査

■事務の概要

- 民生委員が調査した調査票をAI・OCRでデータ化したものに、住民基本情報や町情報を付与して集計を行う。
- 対象者について制度利用の案内文を送る(実務では実施していない)。



財務会計システム報酬支払RPA①

① RPA専用の支給明細書「RPA支給明細書.xlsx」に必要事項を入力 (このファイルに入力したデータがRPAにより財務会計システムに入力されます!) →会計室提出〆日の前々日までに情報政策課 佐藤宛にメールで提出



財務会計システム報酬支払RPA②

- ② 「支出命令書.pdf」と命令番号が入力された「RPA支給明細書.xlsx」をRPAが作成
 - → 会計室提出が日の午前中までに作成されたファイルをメールで返送 ※各所属において、所属長から決裁を受け、会計室に提出してください。

支出命令書.pdf

支出負担行為兼



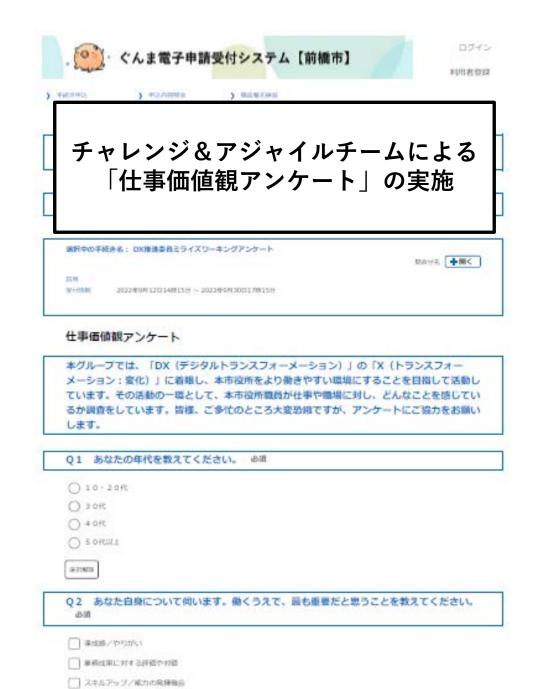
| 度 | 4 会計 | 06 | 介護 | 保険特別 | 引全 | 計 | 后 (| 041100 | 介 | 護保険! | R | | 内 | 線 | | |
|------|--------------|-----|-----|----------|-----|----|--------|------------|---|-----------|-----|---|---|-----|------|-----------|
| | | 会 | 計堂 | <u> </u> | | | | 主智 | 課 | | | | | | | |
| 会計管理 | 望者 会 | 議長 | | 課長補 | 佐 | | 係長 | | 係 | 員 | | | | | | |
| * | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 算区分 | 0 現年 | 度予算 | | | | | | | | 起票 | 日 | 4 | 年 | 8月 | 8⊟ | |
| 款 | 01 総 | | 決裁区 | ₹分 | 2 1 | 果長 | 長 | | | | | | | | | |
| 項 | 03 介護認定費 | | | | | | | | | 支払 | 1座技 | | | | | |
| Ħ | 01 認定調査等費 | | | | | | | | | 支出区分 5 通常 | | | | | | |
| - 第 | 010 認定調査等費 | | | | | | | | | 受取 | | | | | | |
| 業率 | 01 介護認定調査等事業 | | | | | | | | | 支払予 | | 4 | | | 19⊟ | |
| 節 | 01 報 | M | | | | | | | | 予算: | | | | | 084, | |
| 田節 | 20 会計 | 年度任 | 用職 | 員報酬 | | | | | | 負担行為 | | | | | 594, | |
| 田々節 | | | | | | | | | | 配当 | 残 額 | | | 43, | 489, | 500 ⊞ |
| | | | | | | 億 | | | | 万 | | | | | В | |
| | 命令 | 領 | | | | | ¥ | 3 | 8 | 1 | 7 | 6 | | 0 | 0 | |
| Ė | | | | | | | 円 円 | 所得和 雇用(| | 1 | | | | 2 | 11,8 | P. |
| 余 | | ì | 肖費科 | 答 | | | 円 円 | | | 差引金 | 額 | | | 3,6 | 05,7 | 円 60 円 |

| | $+$ $\sqrt{\sqrt{100}}$ | 1 1 1 |
|-----|-------------------------|-------------------|
| RPA | 支給明細 | l書」XISX |

| 7月実約 | 責分 介 | 護認定 | 調査員報 | 酬(横堀 | 小百合 ` | 支給内訳明細書 | | | 祇 尾 | 介護保障 | |
|--------|------|-----|---------|------|---------|---------|---------------------------------|---------|--------|-------------|-----|
| 以下40名) | | | | | 文和门言 | 八明神音 | | 命令番号 | 35706 | 001 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | 0 | 2 | 3 | | 4 | (5) | 6 | 0 | |
| 内訳No. | 氏 | 名 | 報酬 | 通勤加算 | 支給額 | 社会保険 | 雇用保険 | 課税対象額 | 所得税 | 差引支給額 | 受領印 |
| | | | | | (0+2) | | (\$\text{\$\infty} \cdot 0.003) | | | (A) + (B) | |
| 1 | | | 13,500 | | 13,500 | | | 13,500 | 413 | 13,087 | |
| 2 | | | 63,000 | | 63,000 | | | 63,000 | 1,929 | 61,071 | |
| 3 | | | 117,000 | | 117,000 | | | 117,000 | 4,200 | 112,800 | |
| 4 | | | 63,000 | | 63,000 | | | 63,000 | 1,929 | 61,071 | |
| 5 | | | 108,000 | | 108,000 | | | 108,000 | 3,800 | 104,200 | |
| 6 | | | 117,000 | | 117,000 | | | 117,000 | 4,200 | 112,800 | |
| 7 | | | 72,000 | | 72,000 | | | 72,000 | 2,205 | 69,795 | |
| 8 | | | 103,500 | | 103,500 | | | 103,500 | 3,700 | 99,800 | |
| 9 | | | 121,500 | | 121,500 | | | 121,500 | 4,500 | 117,000 | |
| 10 | | | 94,500 | | 94,500 | | | 94,500 | 3,300 | 91,200 | |
| 11 | | | 99,000 | | 99,000 | | | 99,000 | 3,600 | 95,400 | |
| 12 | | | 265,500 | | 265,500 | | | 265,500 | 41,500 | 224,000 | |
| 13 | | | 94,500 | | 94,500 | | | 94,500 | 3,300 | 91,200 | |
| 14 | | | 103,500 | | 103,500 | | | 103,500 | 3,700 | 99,800 | |
| 15 | | | 85,500 | | 85,500 | | | 85,500 | 2,618 | 82,882 | |

RPA処理後は命令番号が入力される。

| 項目 | | 内容 |
|-------------------|------|--|
| (1)当初計画の上半期活動予定 | | ・テレワークチーム庁内向け掲載ページ、動画の作成 ・係長決裁チームの成果について行政管理課等と協議 ・会議チームとの今後の活動内容・方針協議 ・新メンバーによる全体WG開催 ・R3発散のテーマ(残案件)の継続検討、新しいテーマの設定及び新チームの組成 ・R4年度体制によるテーマ検討作業 |
| ①定量的 (2)上半期の成果 | | ・全体WG:計3回開催 ・職員向けに仕事価値観アンケートを実施 (チャレンジ&アジャイルチーム、期間9/12-9/30・回答数613件) |
| | ②定性的 | ・テレワークの利用促進動画を作成中(テレワークチーム) ・文書管理システム構築にあたり意思決定の迅速化を検討 |
| (3)当初計画の下半期活動予定 | | ・検討テーマの実践(効果検証、制度所管課等との調整) ・活動報告会でのR4年度分成果報告 |
| (4)下半期に向けて必要なやりくり | | ・スケジュール 概ね月1回の全体WGと個別のチーム別活動を通じた進捗管理 ・チームメンバー(人的資源)、コミュニケーション 各チームの検討段階に応じて、必要なインプットを得るための機会を提供するなど 活動を加速させるための側面支援 |
| (5)R5年度予算要求 内容と金額 | | ・当初予算要求はなし(年度途中の仮説検証はチャレンジ&アジャイル枠予算を活用) |



→ 人間関係/発育のしやすい機関環境

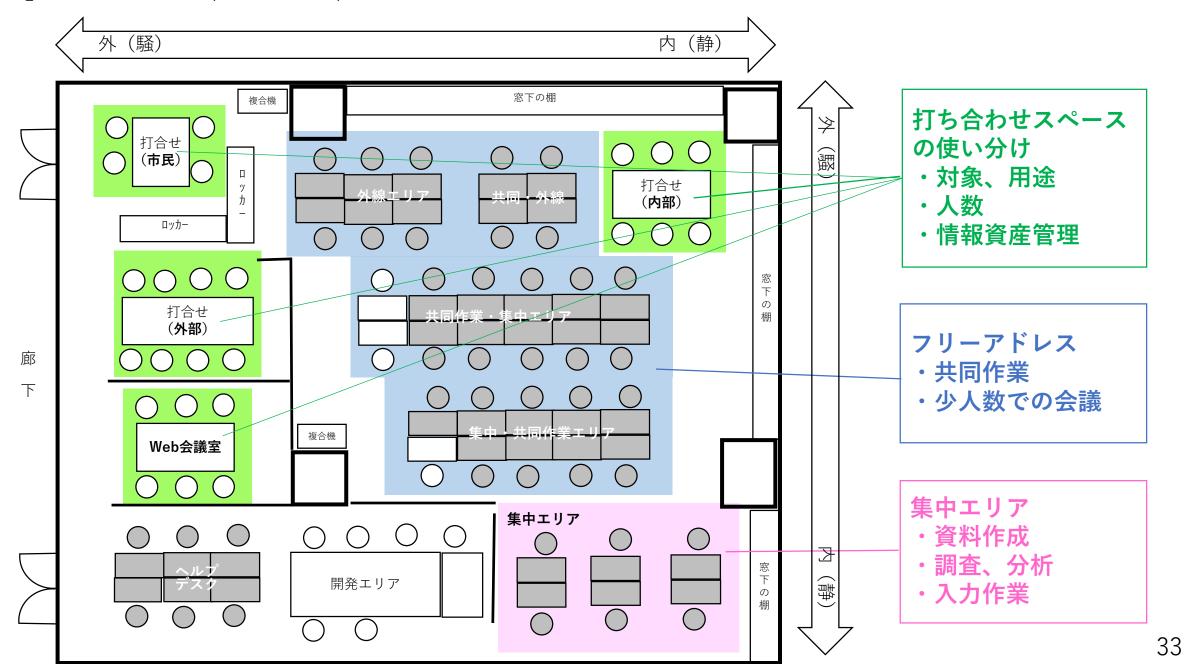
| _ | |
|--|--|
| | |
| Q3 | Q2で回答した項目について、満足度を教えてください。 e3f |
| 0 | 接している |
| 0 | ○各様度は閲覧している |
| 0 1 | 。 |
| 0 | RUNG. |
| SIN | |
| | - |
| Q4 | Q2で回答した項目を選んだのは、なぜですか。具体的な理由があれば、教えてくだ。 |
| -1- | (自由記述) |
| | |
| | |
| | CONTRACTOR OF COMMENT AND CONTRACTOR OF COMMENT AND CO |
| elm | 以下の中で、最も実施して欲しいと思う施業について、1つご回答ください。 eda 和は、より動きやすい環境環境にしていくため、本語が効果的ではないかと考えている所質です。様がを進めること |
| Fallo Bit L | |
| Fallon Bit U | 同日は、より働きやすい機構を現在していくため、本語が効果的ではないかと考えている語目です。検討を進めること いと思う項目を1つご回答ください、特にない場合や別意見等があれば、「その他」にご記入ください。 |
| Faith and the fa | 前日は、より働きやすい機関連場にしていくため、本統が効果的ではないかと考えている所目です。検討を進めること いと思う項目を1つご回答ください。特にない場合や何度見等があれば、「その他」にご記入ください。 FLL・場合呼信制度の導入 |
| | 再目は、より動きやすい機能を現在していくため、本統が効果的ではないかと考えている声目です。検討を進めること いと思う項目を1つご図答ください。特にない場合や何度見等があれば、「その他」にご記入ください。 FLL・概要評価制度の協入 で、部下期のコミュニケーションを行動にする仕組みの範囲 |
| | 同日は、より働きやすい機関連場にしていくため、本統が効果的ではないかと考えている適目です。検討を進めること いと思う項目を1つご留答ください。特にない場合や何度非常があれば、「その他」にご記入ください。 「こい概義将極端値の導入 で、後下期のコミュニケーションを戸港にする仕組みの撤出 「議等・機路の成力の上機会の提出 |
| | 再日は、より働きやすい機場を現在していくため、本統が効果的ではないかと考えている項目です。検討を進めること いと思う項目を1つご図答ください。特にない場合や何度発等があれば、「その他」にご配入ください。 FLい機能評価を確認 では、第下側のコミュニケーションを円滑にする仕組みの部出 「機序・機能の能力向上機会の部出 ・機の幹組みを終えた差数以業務協力作制 |
| | 同日は、より働きやすい機関連場にしていくため、本統が効果的ではないかと考えている適目です。検討を進めること いと思う項目を1つご覧等ください。特にない場合や何度界等があれば、「その他」にご記入ください。 にい、概義界極端間の導入 一百・能下期のコミュニケーションを戸港にする仕組みの撤出 「議事・、概算の能力の上機会の提出 「議の時組みを超えた差数以業務協力作制 いさは、中当ま当外の差数以業務体制 |
| | 田田は、より働きやすい機構を現にしていくため、本統が効果的ではないかと考えている適宜です。検討を進めるさといと思う項目を1つご覧等ください。特にない場合や収穫発帯があれば、「その他」にご記入ください。 日、第千期のコミュニケーションを戸港にする自動みの部出 「職事・職事の成力の上機会の部出 「職の利润みを超えた条款は業務協力体制 さは、ゆう法以外の条款は業務協力体制 では最終的のの意と対すいた。ジェンザーギャッツの解消 |
| | 田田は、より働きやすい機関連場にしていくため、本統が効果的ではないかと考えている適目です。検討を進めること いと思う項目を1つご覧等ください。特にない場合や何度発等があれば、「その他」にご記入ください。 にい、概要評価制度の導入 一度・後下期のコミュニケーションを戸港にする仕組みの撤出 「機等・機器の成力向上機会の提出 「機等・機器の利力向上機会の提出 いさは、中当ま当外の差数な数器推制 「性職員割合の電を設まいた」ジェンザーギャップの解消 に著目機による業務の再点維 |

(参考) アンケート集計速報:<mark>最も重要だと思うこと</mark>、実施してほしいこと n:613 人間関係 業務成果に対する評価や対価 新しい職員評価制度の導入 副業等、職員の能力向上機会の創出 あさ活・ゆう活以外の. 所属の枠組みを超えた柔軟な業務協力体制 女性職員割... 第三者目線による業... 副業等、職員の... 所属の枠組.. 新しい職員評価... あさ活・ゆう活以 上司・部下間のコミュニケーションを円滑にする仕組みの創出新しい職員評価制度の導入なし その他 第三者目線による業.. プライベートの充実 そ... ... あさ活・ゆう活以外の.上司・部 個々の事情に合わせた柔軟な働き方 スキルアップ その他 所属の枠.. あさ活・ゆう活以外の柔軟な勤務体制 所属の枠組みを超えた柔軟な業務協力体制 上司・部... 新しい職.. あさ活・ゆう活以外の柔軟な勤務体制 所属の枠組み... 第三者. その他 所属の枠組... 副業等. その他 女性職員割合... 新しい.. 第三者目線による業務の再点検 女性職員割合の増を... 副業等、職員の能力向上機会の創出 新しい.. 副業等、職員の能力向上機会の創出 女性... 第三..

| WG名 | ١ | Λ | I G | ; | 名 |
|-----|---|---|-----|---|---|
|-----|---|---|-----|---|---|

⑩ABW(新議会棟)WG

| 項目 | | 内容 |
|-------------------|--|--|
| (1)当初計画の上半期活動予定 | | ・先進地視察 ・各課でユースケース(来課される方ごとの対応場所・対応方法・時間)を作成 ・ユースケースに対応できるレイアウト検討 |
| (2)上半期の成果①定量的②定性的 | | |
| | | ・先進地視察(7月20日に東京都千代田区のデジタル庁) ・各課でユースケースを作成し、これに対応できるレイアウトを検討 |
| (3)当初計画の下半期活動予定 | | ・ABWを考慮したレイアウト作成方法のまとめ ・新議会棟へ移転し試行開始 |
| (4)下半期に向けて必要なやりくり | | ・スケジュール 新議会棟への執務室移転は令和5年1月に予定しているため、年度内は試行期間が 限られる。そのため、年度末までに試行すること、次年度を見据えて取り組むことを 適切に取りまとめる必要がある。 ・ステークホルダー 新議会棟への移転対象課による検討内容をもとに、全庁でのABWへ展開を拡充する ためには、直接的な住民サービスを担う窓口所属等メンバーの再考が必要。 |
| (5)R5年度予算要求 内容と金額 | | ・当初予算要求はなし(年度途中の仮説検証はチャレンジ&アジャイル枠予算を活用) |



| W | G名 |
|---|----|
|---|----|

⑪窓口WG

| 項目 | | 内容 |
|---------------------|--|--|
| (1)当初計画の上半期活動予定 | | ・WGキックオフ ・本庁、支所・SC間でのデジタルによる窓口業務のコミュニケーションの実証範囲、 実証方法を関係課と合意 ・実証実施 |
| ①定量的 | | |
| (2)上半期の成果 ②定性的 | | ・計1回のWGを実施(キックオフ) |
| (3)当初計画の下半期活動予定 | | ・本庁、支所・SC間でのデジタルによる窓口業務のコミュニケーションの実証範囲、 実証方法を関係課と合意 ・実証実施 ・他のWG、実証結果を踏まえ、窓口業務の制度、組織のあり方等を検討 |
| (4)下半期に向けて必要なやりくり | | ・スコープ 当初はWGでの実証を検討していたが、今年度中に新しい職務環境(chromebook、 MS365等)を構築することから、実際の窓口において各ツールを本格運用することも 含めて作業範囲を検討する。 |
| (5)R5年度予算要求 内容と金額 | | ・当初予算要求はなし |

| WG名 | 1 |
|-----|---|
|-----|---|

⑫地域社会のDX推進WG

| 項目 | | 内容 |
|-------------------|--|--|
| (1)当初計画の上半期活動予定 | | ・外部人材(CIO補佐官)の選定 ・CIO補佐官との方針協議(対象領域の設定、ゴール設定、具体の道筋を明確化等) ・WGキックオフ ・地域での試行 |
| ①定量的(2)上半期の成果②定性的 | | ・CIO補佐官との方針協議:8回(2週間ごとに定例打ち合わせ) |
| | | ・支援業務のプロポーザルを実施。委託先として一般社団法人コードフォージャパンを 選定し、同法人所属の山形巧哉氏をCIO補佐官として任用。 ・市議会ICT利便性向上特別委員会において、同氏による講演及び質疑応答を実施。 |
| (3)当初計画の下半期活動予定 | | ・地域での試行 |
| (4)下半期に向けて必要なやりくり | | ・スケジュール CIO補佐官との方針協議に当初想定よりも時間がかかっている。拙速に事を運ぶ ことは避けつつも、上半期で議論した内容を踏まえ、取組みの全体像(対象領域や ゴール設定、具体の道筋の明確化)を早期に整理する。 ・スコープ、ステイクホルダー 取組みの全体像を整理した後には、適切な作業範囲と利害関係者の設定を行い、 活動を開始する。 |
| (5)R5年度予算要求 内容と金額 | | ・支援業務の委託(外部人材の活用) 2,472千円 ・年度途中の仮説検証はチャレンジ&アジャイル枠予算を活用 |

(参考) 支援業務のプロポーザル提案書抜粋

2. CIO 補佐官として想定する担当者の経歴



山形 巧哉

一般社団法人 コード・フォー・ジャパン コンサルタント

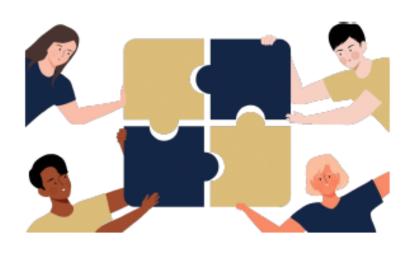
国際大学GLOCOM客員研究員 デジタル庁 オープンデータ伝道師 総務省地域情報化アドバイザー 愛媛県・市町DX推進専門官

1998年、北海道森町へ奉職。公有財産管理や公営住宅・職員福利厚生を担当の後、 2003年より情報システム全般の主担当となる。

地域情報化のプランニング、自治体内で利用する各種ネットワークの設計・構築・管理、WEBサイトの構築、パブリッククラウド導入など経験は多岐にわたる。地元では住民ICTコミュニティや公務員コミュニティの立ち上げを行う。オープンデータやシビックテック関連コンテストの受賞歴多数。2021年3月より弊団体研究員。2021年11月を以って北海道森町を退職し、現職。

- 2018年 経済産業省新公共サービス研究会委員
- 2019年 総務省自治体システムデータ標準連携検討会構成員
- 2020年 内閣官房データ活用サイクル検討会構成員
- 2021年 北海道 デジタル人材育成・確保ワーキンググループ構成員
- 2021年 デジタル庁自治体タスクフォース委員

コード・フォー・ジャパンの強み



なお、弊団体には自治体における業務改善をはじめ とした多種多様な分野のプロフェッショナルが所属 しております。

本担当を中心としながら、チームとして貴市に対する自治体DXにかかるアドバイスを行える体制作りが可能のなっております。

3.事業提案内容(i) これまで市が進めてきた取組への講評

これまで市が進めてきた取組への講評が記載されているノ根拠を伴う講評が記載されている

前橋市は、令和3年3月にデジタルトランスフォーメーション推進計画が策定され、「前橋市 DX推進委員会」や分野横断的に自治体内におけるデジタルトランスフォーメーションを推進す る「ワーキンググループ」による前橋市が目指す未来の実現に向けた議論やアイデアワークが行 われてきた。基本的には総務省自治体DX推進計画にそった形の取り組みをされていると見える が、13のワーキンググループの活動報告をみる限り、うわべだけの議論では無く、しっかりと 内部業務に踏み込んだ議論がなされている点が評価できる。

特に、前橋市DX推進計画では少々大きなミッション(住民の福祉の増進地方自治法第一条の二 ≒ 住民サービスの向上)が掲げられてはいるが、まだ人口減少率がそこまで加速していないように見 えている段階で2040年問題をしっかりと見据えられている。中長期的に市役所の内部がどのよ うな形になっているべきかという、目指す姿がしっかりと共有されていることは素晴らしい。さ らにはこの視点を持ちながらも、実践的な議論のワークショップ等が内観で行われているのは全 国的にも珍しく、活動報告会を確認する限りでも、幹部職員からのレビューが実施前提なのも合 理的である。

そもそも、なぜ前橋市がこのようなモチベーションでDX推進計画を進められているのかを考察 すると、同じく報告会でも情報政策課が述べていたが職員が変革を「あくまでも自分ごと」とし 考え、手を動かしているからこそできるものであると考えられる。この「自分ごと感」の気運醸 成をされているのがひとつ大きなポイントとして挙げられる。

よくありがちなDX推進計画を作ったのち、体裁だけを整えるための議論というものでは無く、 実現可能性を重視するために単独部署だけでは無く横断的に行政全体としてしっかりと考えられ ている。



事例として、ミライズ策定ワーキンググループの会議チーム の取り組みは印象的でこれまでも行われてきたことを、改め てレビューし、「これまでも行っているが足りていない」と いう現状を認知し改めて今のツール等で刷新していくといっ た取り組みは、意外と行政内では難しい行為であると考えら れ、着実に実践を重ねていく良い例であると考えている。

※ 地方自治法第一条の二 地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。

| VVG | V | V | G | 名 |
|-----|---|---|---|---|
|-----|---|---|---|---|

____ ⑬デジタルデバイド解消WG

| 項 目 | | 内容 |
|-------------------|------|---|
| (1)当初計画の上半期活動予定 | | ・デジタル支援員活用事業公募対応(民生委員向けスマホ講座) ・民生委員向けスマホ講座(一部先行実施) ・障害者への情報保障のあり方整理 |
| ①定量的 | | ・計3回のWGを開催 ・市内15箇所の公民館にWi-Fi整備 ・自治会タブレットの実証開始(3地区50台) |
| (2)上半期の成果 | ②定性的 | ・市社協と民生委員向けスマホ講座の実施内容を調整・前橋工科大と「デジタルよろず相談所」開設に向けた調整・上記の事業を実施するためのチャレンジ&アジャイル枠予算を確保(9/20副市長プレゼン) |
| (3)当初計画の下半期活動予定 | | ・民生委員向けスマホ講座(12月~) |
| (4)下半期に向けて必要なやりくり | | ステークホルダー ・民生委員向けスマホ講座 民生委員地区会長会での講座開始について説明 ・デジタルよろず相談所 全市展開に向けて市内大学と市民SCとの調整 チームメンバー 障害福祉課のWG参画に向けた調整 |
| (5)R5年度予算要求 内容と金額 | | 積算中 |

前橋市DX推進計画

前橋市DX推進計画 KPI:令和7年度までに、希望する市民が身近な場所で相談や学習を行える環境を構築する

-令和3年度-

幅広い講座の提供、地域人材の育成の試行

・全地域(各公民館等)で幅広い市民を対象に実施

- ①各公民館で総計75コマの講座を実施(スマホあり)
- ②自治会向けに講座を25コマ実施
- ③ドコモの出前講座を10講座開催(スマホなし)

・ICT機器のサポート強化に向けた人材育成

①介護予防サポーターを対象にレベル別講座を総計 28講座開催。通いの場での相談役としての人材育成 を図る

令和6年度

希望する市民が身近に相談できる環境の試行

市内でモデルケースを実施し、次年度に向けた効果検証や事業の整理を行う

令和4年度-

地域人材の育成の充実

各公民館において、地域ニーズに応じて、独自でスマホ講座を開催

地域の身近な場所に気軽に相談できる人材がいることは地域全体のICT技術向上に繋がる。 令和3年度は介護予防サポーターを対象にしたが、効果的であったため、相談役になりうる団体を対象に、地域人材の育成の充実を図る。

(例:民生委員、生涯学習奨励員、学生等)

-令和7年度·

希望する市民が身近に相談できる環境の稼働

これまで検討してた事業の実装

-令和5年度-

希望する市民が身近に相談できる環境の検討

継続的に実施できるように各課と調整



これまで実施した講座を受講した方の知識が地域 で循環されるような仕組みを検討し、<u>希望する市民</u> が身近に相談できる環境を検討する

定時・定点の相談環境

【成果イメージ】

- ・加賀市「スマホよろず相談所」のような気軽に相談できるような環境が自治会単位で存在
- ⇒講師の担い手が市民
- +
- ・民間キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)と協定を結び、CSRの一環として、市民からの相談を積極的に受け入れる環境が整備されている

収組み内容

提案事業① 民生委員向けスマホLINE講座

〇事業コンセプト

民生委員・主任児童委員、22地区664人を対象としたスマホ講座を実施し、LINE等の通信アプリ操作を習得し、ICTスキルアップを目指す。



地域の「つなぎ役」として、常に住民の立場に立って生活上のさまざまな相談に応じている民生委員のICTスキルの向上をサポートすることで、市民が身近な場所で相談や学習を行える環境が構築できる。

- ・学びを地域で循環させる持続可能な仕組みづくり
- ・安心してICTを活用できる環境づくり





提案事業② デジタルよろず相談所

※費用は大学側が負担

○事業コンセプト

- ・定時×定点で、身近な場所で相談できる環境づくり
- ・若者(学生)のデジタルスキルを地域社会に還元
- ・デジタルサポーターの制度化に向けた取り組み

○市内大学×相談所の組合せ(案)

•群馬大学

- ⇒ 南橘SC
- ・前橋工科大 ⇒ 上川淵・下川淵市民SC
- ·群馬医療福祉大学 ⇒ 東市民SC
- •前橋国際大学 ⇒ 永明市民SC
- ·県民健康科学大学 ⇒ 桂萱市民SC

○デジタルよろず相談所の試験設置

- ・相談体制の構築に向けたモデル事業を実施する
- 令和4年11月中旬~12月中旬 [1]時 期
- [2]時 間 週1~2日、各2時間程度(予定)
- 上川淵・下川淵 市民SC (予定) 所 [3]場
- 地域貢献学生スタッフ 2人×2SC [4]相談員

<デジタル共生社会のイメージ図>



出典:総務省デジタル活用共生社会実現会議資料(デジタル活用共生社会の 実現に向けて) https://www.soumu.go.jp/main_content/000615517.pdf

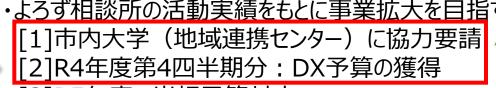
○モデル事業後の予定

今回提案の範囲 (1大学での実施を想定)

・よろず相談所の活動実績をもとに事業拡大を目指す

「3]R5年度の当初予算対応

[4]地方創生推進交付金の申請



まえばしデジタルサポーター と デジタル推進委員制度の活用 (素案)

